

国指定
史跡

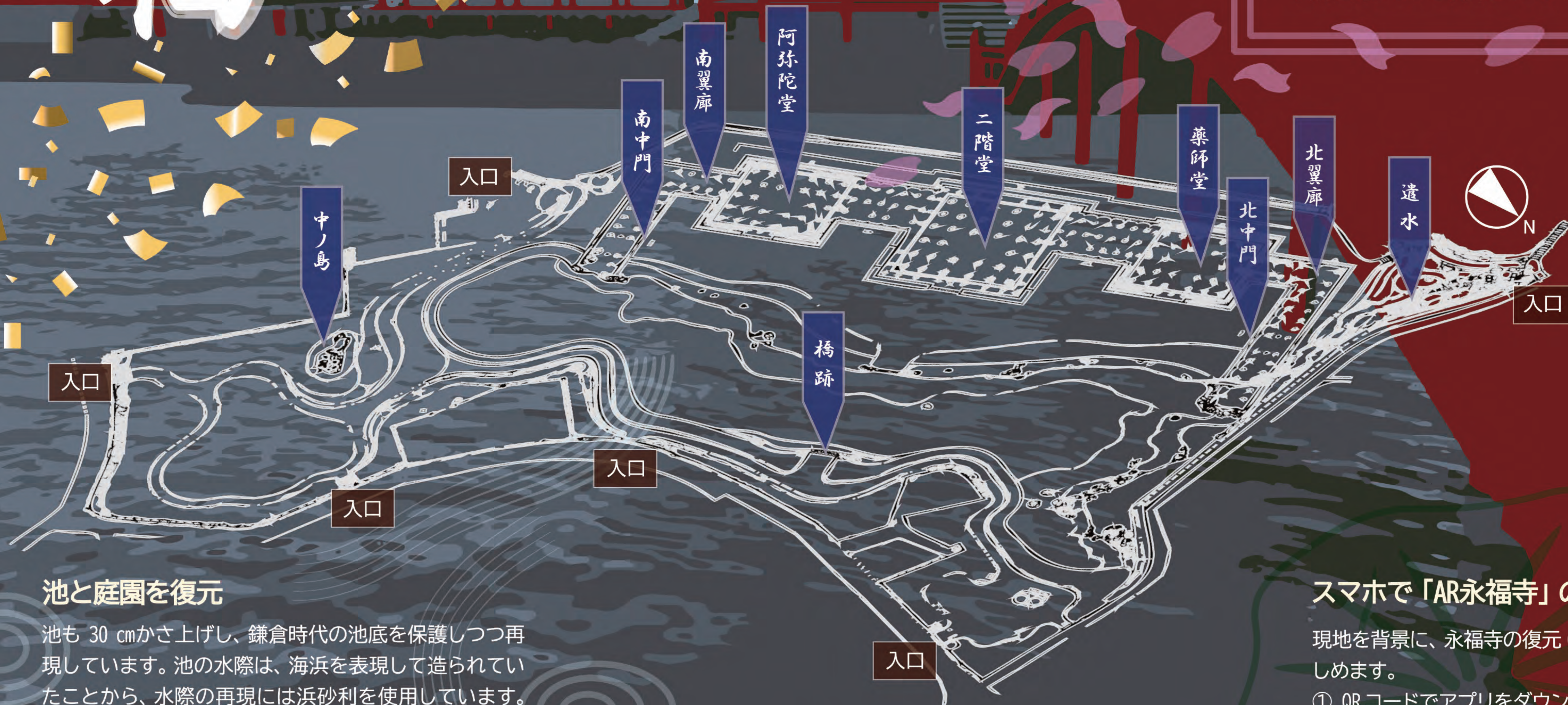
永福寺跡

絵図の全く残されていなかった永福寺。発掘調査で実際に見つかった建物基礎や柱跡などの遺構と、文章で残された当時の人々の感嘆の記録を基に、建物の基壇（基礎）と池の復元を行いました。現地は下の建物跡配置絵図のような姿によみがえっています。

絵図を片手に、国指定史跡永福寺跡をお訪ねください。

建物基礎を復元

源頼朝や北条政子が踏みしめた 800 余年前の地面の上に厚さ 60 cmの盛土をして遺跡を保護し、3 つの堂の基壇を創建当時と同じ位置に同じ木造で再現しました。堂を結ぶ廊や釣殿は、礎石で平面の位置・形を表示していません。復元にあたっては、調査で発見した木材・石材と同じものを使用しています。



池と庭園を復元

池も 30 cmかさ上げし、鎌倉時代の池底を保護しつつ再現しています。池の水際は、海浜を表現して造られていたことから、水際の再現には浜砂利を使用しています。庭石は発掘した本物をできる限り露出展示しています。本来の池はさらに東の園外へ広がることがわかっていますが、現在は板柵で池を区切っています。

建物跡配置絵図

スマホで「AR永福寺」の体験を

現地を背景に、永福寺の復元 CG を楽しめます。

- ① QRコードでアプリをダウンロード
- ② 現地で看板を探そう



CG・アプリ製作技術：湘南工科大学長澤・井上研究室